

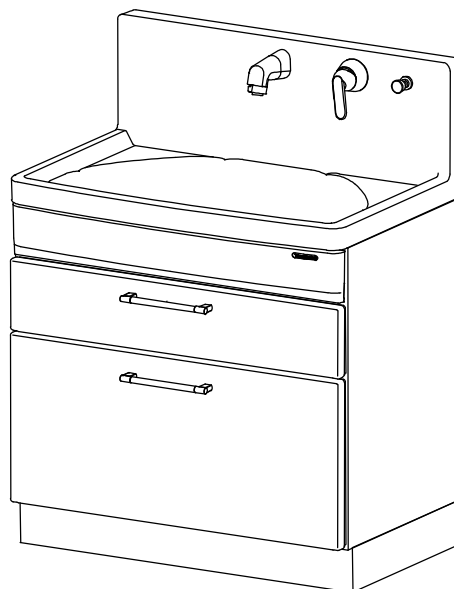
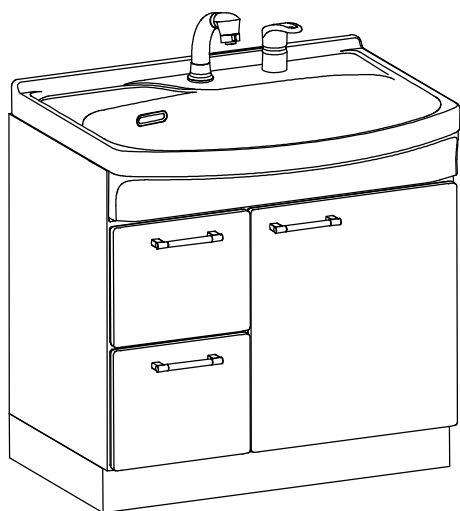
Ondine

オンディーヌ

Takara standard

設置説明書

洗面化粧台



もくじ

安全上のご注意……………	2
設置上のご注意……………	3
組立配管図……………	3
設置手順……………	5
調整のしかた……………	11
点検・仕上げ……………	12
お願い事項……………	12

- ◆この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
- ◆設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、わかりやすい場所に納めておいてください。

- ◆水栓の水量調整及び器具の点検を容易にするため、必ず止水栓をご使用ください。
- ◆給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
- ◆設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- ◆本商品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、商品に布などをかぶせて保護してください。
- ◆梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。

安全上のご注意

必ずお守りください

- ・設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- ・表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

⚠ 警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- ・お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



このような図記号は、必ず実行していたく「強制」の内容です。



このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

⚠ 警告

 ●キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行う 固定方法を誤ると使用中に下台が転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。	 ●水道工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者」が行う 接続や固定が不完全な場合は、水漏れの原因になります。
---	--

⚠ 注意

 ●組み込まれる水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する 設置を誤ると思わぬ事故や故障の原因になります。	 ●排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行う 接続に不備があった場合、使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。
 ●引出しに収納する物は、収納物の高さに注意する 収納物が排水器具やボウルと接触し、水漏れ破損などの原因になります。	 ●扉や引出表板を調整する時は手回しドライバーを使用する ネジがはずれて扉や引出表板が落下するおそれがあります。
 ●ストラップと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行う 接続部にスキマがあると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。	 ●設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する 扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。
 ●設置後、排水栓を閉栓した状態で吐水を全開にして水がボウル面からあふれそうな場合は止水栓を絞って流量調整する 水があふれることで拡大損害につながるおそれがあります。	 ●ストラップをU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない 使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて床を汚すおそれがあります。

快適にご使用いただくためにお守りください。

●直射日光や殺菌灯があたる場所、高温になる場所への設置は避ける プラスチック部品や塗装部品が変色するおそれがあります。	●工具類等をキャビネットに落としたり当てたりしない キズがついたり欠けたりするおそれがあります。
●ボウルに載らない ボウルがキズつくおそれがあります。	●浴室等湿気の多い場所への設置は避ける 製品が早く傷むおそれがあります。

設置上のご注意

設置前のご確認

取付用栈木が、壁面の指定位置に設置されていることを確認してください。また、屋内側の給排水管が所定の位置に配置されていることも確認してください。(組立配管図参照)

組立配管図

注1) 図はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。カウンター高さが80cmの場合、※部の寸法は+50mmになります。

注2) 小型電気温水器設置の場合、給湯管立上げは不要です。また、壁面排水は不可です。

注3) []は、扉(引出し付)タイプの場合の寸法です。

キャビネット	間口	水栓	正面図	上面図
デッキ水栓タイプ	75cm	洗髪シャワー水栓		
		洗面水栓		

キャビネット	間口	水栓	正面図	上面図
「2段スライドキャビネット」 デッキ水栓タイプ	60cm	洗髪シャワー水栓		
「2段スライドキャビネット以外」 デッキ水栓タイプ		洗髪シャワー水栓		
デッキ水栓タイプ		洗面水栓		
「扉引出し付キャビネット」 壁出水栓タイプ	75cm	洗髪シャワー水栓		

キャビネット	間口	水栓	正面図	上面図
「扉引出し付キャビネット以外」 壁出水栓タイプ	75cm	洗髪シャワー水栓		
薄型タイプ	75cm	洗髪シャワー水栓		
		洗面水栓		

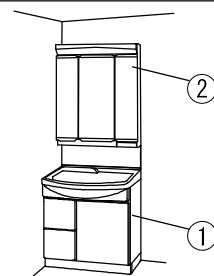
設置手順

＜洗面化粧台の設置順序＞

洗面化粧台の設置は下記の順序にしたがってください。

①洗面下台 → ②ミラーキャビネット

※ミラーキャビネットの設置は、ミラーキャビネットに付属している設置説明書にしたがってください。



洗面下台は下記の順序にしたがって設置作業をおこなってください。

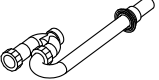
- (1) 付属部品の確認 → (2) 保護材の取り外し → (3) 台輪スペーサー・そこまでホーローラックの取付 →
 (4) 水栓・排水部品の取付 → (5) 下台の設置 → (6) 給排水管の接続 → (7) ミラーキャビネットの設置 →
 (8) コーキング処理 → (9) 扉・引出しの調整

(1) 付属部品の確認

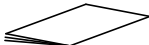
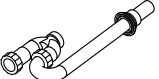
・付属部品が揃っているか確認してください。

※本書に記載以外の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

■ 下台（デッキ水栓タイプ）

小物セット	取扱説明書・設置説明書	各1部	
	固定用スリーブ	2個	
	トラスタッピンネジ4×45	2本	
	前板補強金具（2段スライドタイプのみ）	1個	
	ナベタッピンネジ4×12（2段スライドタイプのみ）	1本	
同梱部品	Sトラップ	1個	
	防臭キャップ	1個	
	ポップアップつまみ（洗髪シャワー水栓のみ）	1個	

■ 下台（壁出水栓タイプ）

小物セット	取扱説明書・設置説明書	各1部	
	固定用スリーブ	2個	
	トラスタッピンネジ4×45	2本	
	防水ガイド	1個	
	ガイドパイプL100	1個	
	前板補強金具（2段スライドタイプのみ）	1個	
	ナベタッピンネジ4×12（2段スライドタイプのみ）	1本	
同梱部品	Sトラップ	1個	
	防臭キャップ	1個	
	ポップアップつまみ	1個	

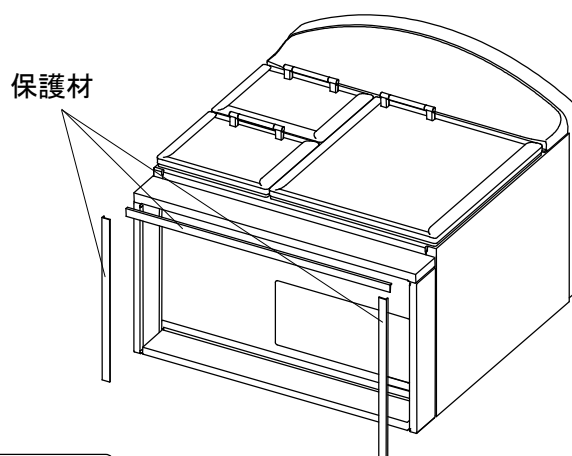
(2) 保護材の取り外し

製品の底面保護のため保護材を取付けています。
設置時には不要になりますので**必ず取り外してください。**

①キャビネットを後ろに倒してください。

ご注意: キャビネットを倒す際は、床やキャビネットを傷つけないよう段ボール等で養生してください。

②底面に取り付いている保護材を取り外してください。



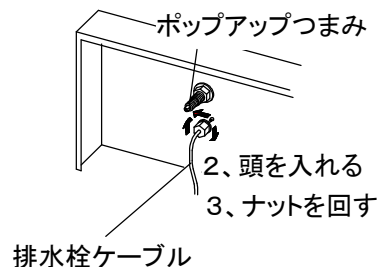
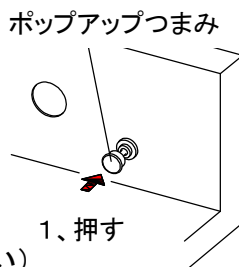
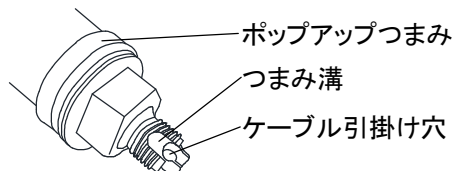
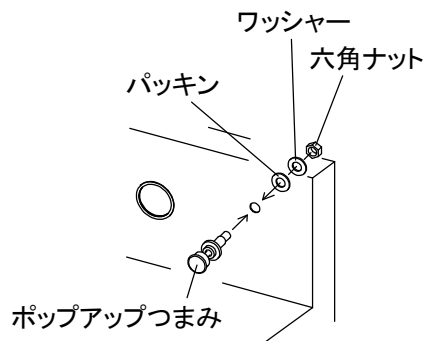
(3) 台輪スペーサー・そこまでホーローラックの取付【オプション対応】

台輪スペーサー・そこまでホーローラックに付属の説明書にしたがって下台に取付けてください。

(4) 水栓・排水部品の取付

・壁出水栓タイプの場合

- ①ポップアップつまみを右図のように取付けてください。
- ②ポップアップつまみを押し込み、ボウル立ち上がりの背面に排水栓ケーブルを引き出してください。
- ③右図・下図のようにつまみ溝とケーブル引掛け穴を合わせて排水栓ケーブルをポップアップつまみに接続してください。



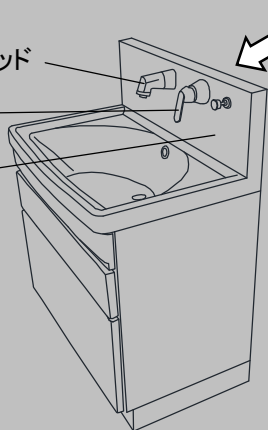
- ④水栓付属の説明書にしたがって、水栓をバックパネルに取付けてください。(下記の「ご注意」の点に注意してください)

ご注意: 水栓を取り付ける際、水栓付属の説明書にあわせて下記注意点もご参照願います。

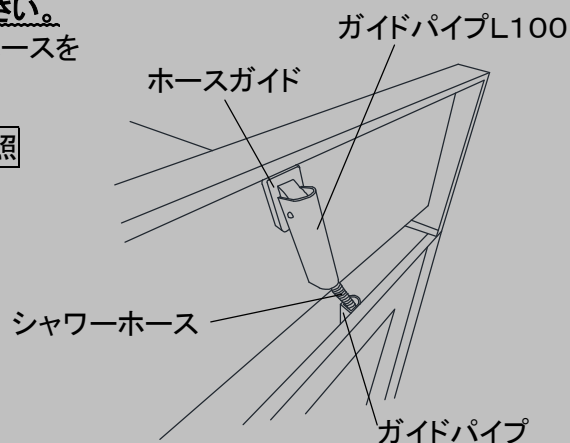
【水栓シャワーヘッド取付け時の注意点】

- 1、水栓シャワーヘッドをボウルに取付けてください。
- 2、下台の小物セットに同梱している『ガイドパイプL100』にシャワーホースを通し、ガイドパイプL100を水栓部品のホースガイドに引っ掛けてください。
- ※水栓に同梱しているガイドパイプは使用しないでください。
- 3、キャビネットに固定している『ガイドパイプ』にシャワーホースを通して水栓レバー側と接続してください。

水栓シャワーヘッド
水栓レバー
ボウル



右図参照

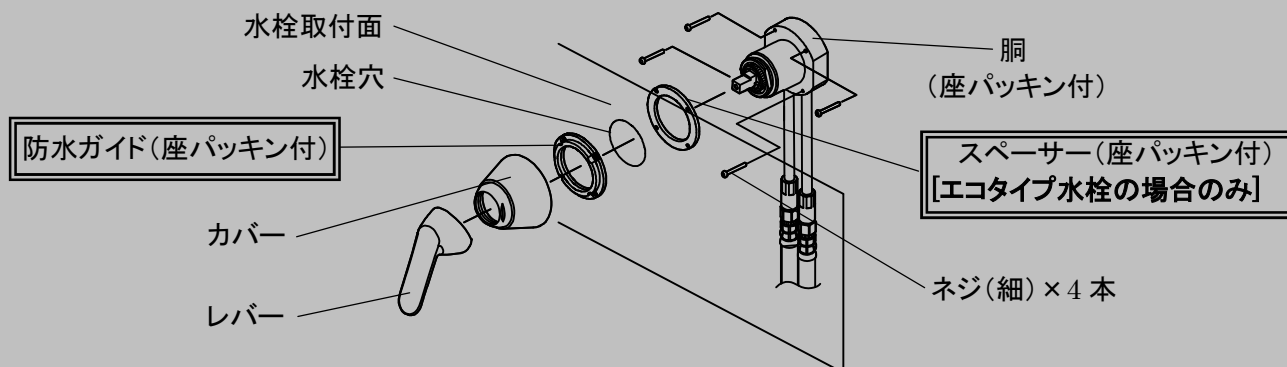


キャビネット後面(左図矢印方向から見た図)

【水栓レバー取付け時の注意点】

レバーを取り付ける際、下台の小物セットに同梱している『防水ガイド』を、エコタイプ水栓の場合はさらに水栓に同梱している『スペーサー』をはさんで取付けてください。

※「防水ガイド」は水栓取付面の手前側、スペーサーは水栓取付面の裏側に取付けてください。

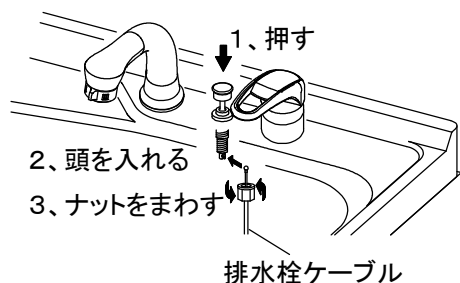
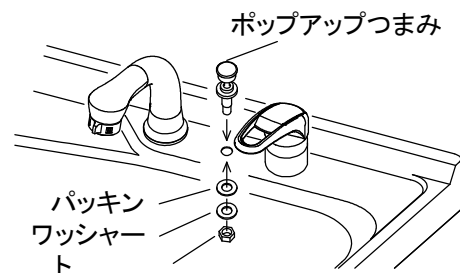


・デッキ水栓タイプ(洗髪シャワー水栓タイプ)の場合

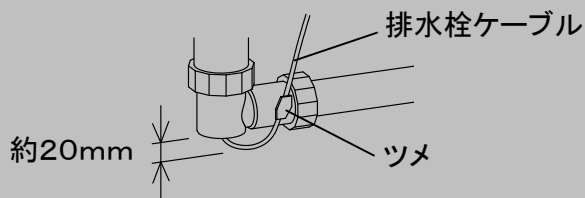
①水栓付属の説明書にしたがって水栓をボウルに取付けてください。

②ポップアップつまみをボウルに取付けてください。

③右図のように排水管から出ている排水栓ケーブルをポップアップつまみに接続してください。



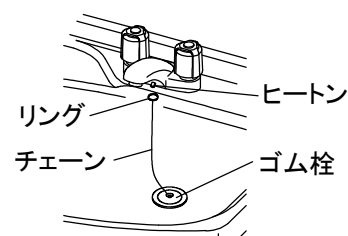
ご注意: 排水栓ケーブルが排水器具のツメからはずれている場合は、必ずツメに引っかけてください。
(排水栓ケーブルは、排水器具からのたるみが約20mmになるように引っ掛けてください。)



・デッキ水栓タイプ(洗面水栓タイプ)の場合

①水栓のヒートンにゴム栓のリングを引っ掛けてください。

②水栓付属の説明書にしたがって水栓をボウルに取付けてください。



(5) 下台の設置

①下台を所定の位置に据え置いてください。

②下台内部より、固定用スリーブを介してネジで下台を壁面固定してください。

ご注意: 床が水平でない場合は、すき間に詰め物をしてガタつきのないように水平に設置してください。

トラスタッピンネジ
4×45

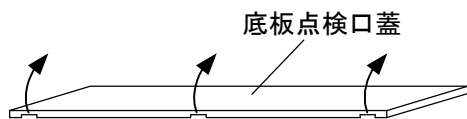
固定用スリーブ

(6) 給排水管の接続

① 下記にしたがって点検口蓋を取りはずしてください。

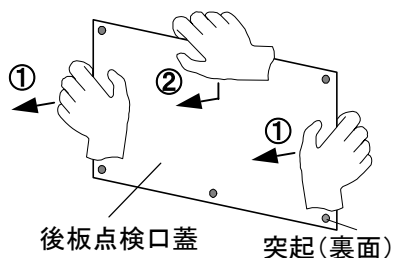
・底板点検口蓋

手前側の凹み3箇所を持ち上げ、点検口蓋をはずしてください。

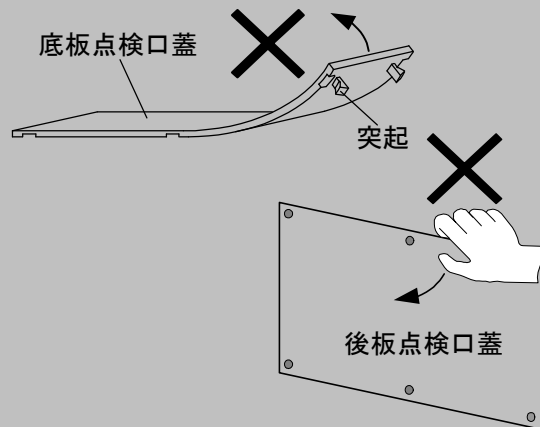


・後板点検口蓋

- 1、両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて4隅の突起をはずしてください。
- 2、上辺中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いて点検口をはずしてください。



ご注意: 下図のように指示と異なる方法で無理にはずさないでください。突起が折れる可能性があります。



② 現場の配管位置に合わせて、点検口蓋に穴(給水管、給湯管、排水管用)をあけてください。

③ 給水管・給湯管を接続してください。

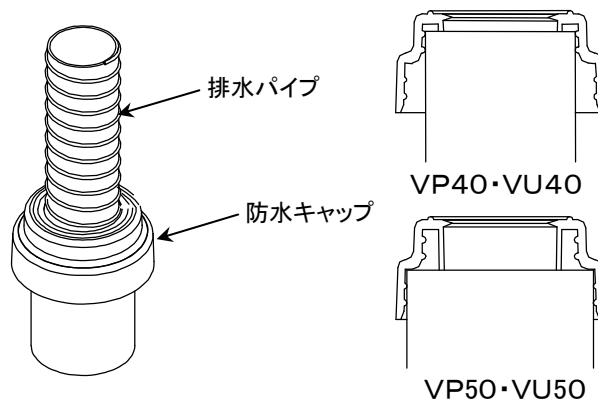
- 1、点検口蓋にあけた穴に給水管、給湯管を通して、止水栓を取付けてください。
- 2、水栓付属の説明書にしたがって配管工事を行ってください。

④ 排水管を接続してください。

壁排水の場合はP管(別売部品)が必要です。手配もれがないことを確認してください。

・床排水の場合

- 1、底板点検口蓋の穴にSTラップの排水パイプを通してください。
- 2、防水キャップを排水パイプに取付けてください。
- 3、防水キャップを排水管に差し込み、スキ間のないようにシリコン等で完全にシールしてください。
- 4、底板点検口蓋と後板点検口蓋を各々の箇所に取付けてください。



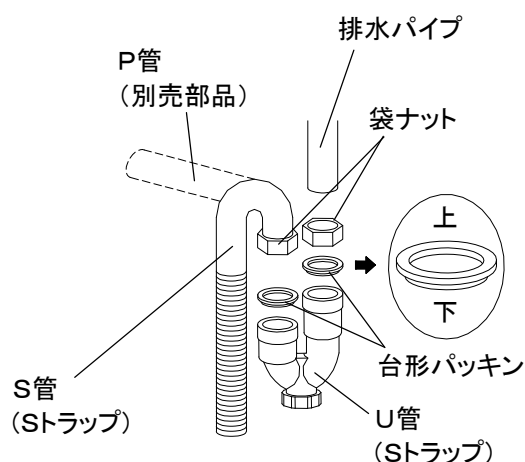
VP40、VU40、VP50、VU50 の排水管に接続可能

ご注意：・すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。
 ・U管、P管の袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締めすぎないでください。
 袋ナットが破損するおそれがあります。
 ・U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、歪んだ状態で締め付けしないでください。
 水漏れの原因になります。

ご注意：・パッキンの取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因になります。
 ・金属製のナット類は、十分締め付けてください。締め付け不足の場合、水漏れの原因になります。
 ・凍結防止や結露防止が必要な場合は、配管に保温材を巻く等の保温処理を施してください。

・壁排水の場合

- 1、後板点検口蓋にあけた穴にP管を通してください。
- 2、建物側の排水管にP管を差し込んだ後、P管とSトラップのU管を確実に接続してください。
- 3、P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。
- 4、底板点検口蓋と後板点検口蓋を各々の箇所に取付けてください。



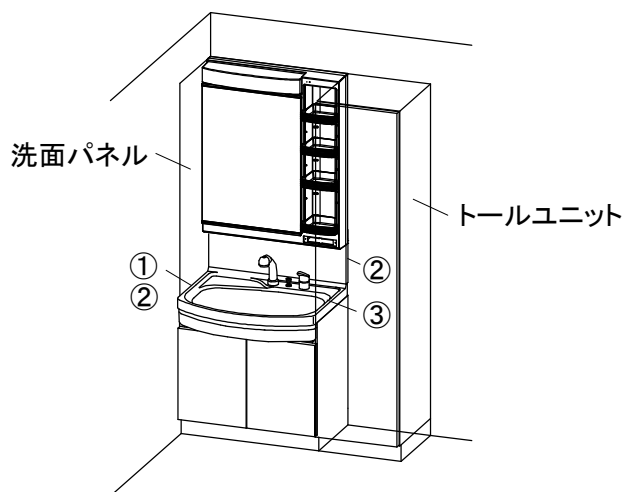
(7)ミラーキャビネットの設置

ミラーキャビネット付属の説明書にしたがって、ミラーキャビネットを設置してください。

(8)コーキング処理

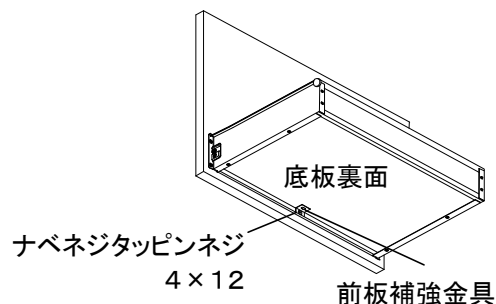
下台に続いてミラーキャビネット、吊戸棚、トールユニットなどの設置も完了したら、外観向上および防水処理のため、次の箇所をシリコン(白)でコーキング処理を行ってください。

- ①ボウルと洗面パネルとの間の目地
- ②ボウルと壁との間の目地
- ③ボウルとトールユニット エンドパネルとの間の目地 など



(9)扉・引出しの調整

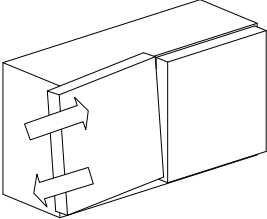
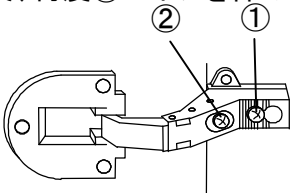
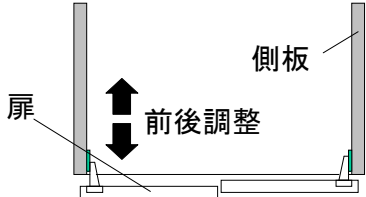
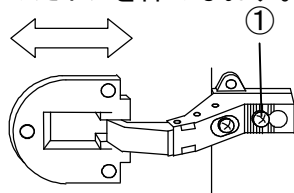
- ・扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。不備がある場合は、「P11 調整のしかた」にしたがって調整してください。
- ・引出しについては、調整終了後、底板裏面より前板補強金具を用いて付属のネジで固定してください。



調整のしかた

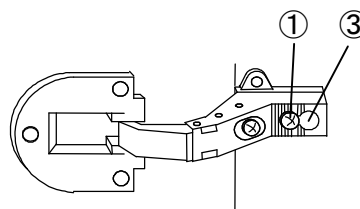
※調整には+ドライバーが必要です。

扉がガタついたり扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締め直し又は調整を行ってください。

扉の状態	左右に傾いている場合	前後に傾いている場合
調整のしかた	左右調整  ①のネジをゆるめて②のネジ込み代で調整した後、再度①のネジを締める。 	前後調整  ①のネジをゆるめて扉の前後位置を調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。 前後調整 

●丁番のはずしかた

①のネジをゆるめて丁番を手前いっぱいにならずし、③の穴から①のネジ頭の引っ掛りをはずしてください。



●引出しの調整のしかた

(注) 底板裏面より扉を固定しています。扉の上下・左右調整する場合は固定ネジをゆるめてください。調整後、ネジを締め直してください。

・前板の前後方向(角度)の調整

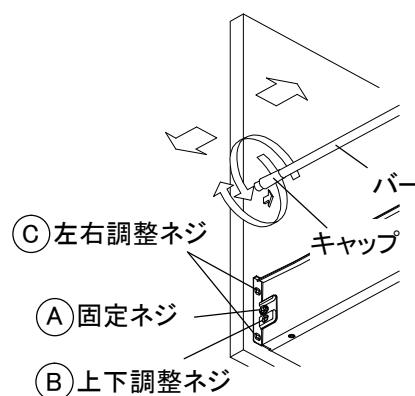
左右のバーに付いているキャップを少し引き抜いた状態で左右に回して調整してください。

・前板の上下方向の調整

Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下調整し、再度Aのネジを締め直してください。

・前板の左右方向の調整

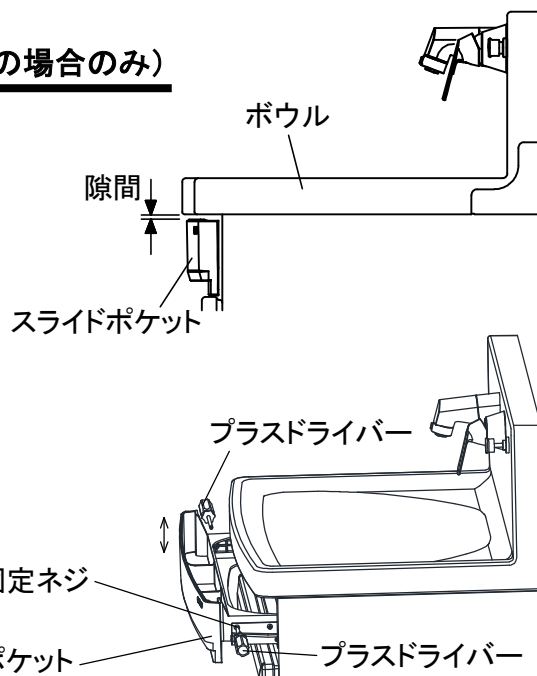
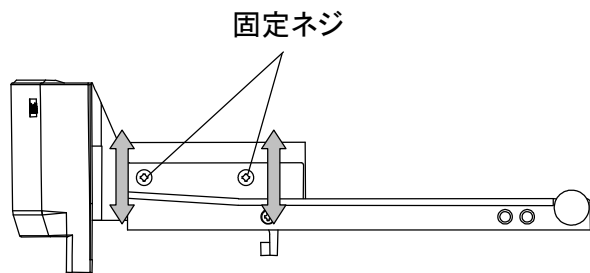
Cのネジをゆるめて左右調整し、再度ネジを締め直してください。



■スライドポケットの調整方法(壁出水栓タイプの場合のみ)

●ボウルとの隙間調整

スライドポケット側面の前後にある固定ネジをゆるめた後、スライドポケット本体を上下調整し、再度固定ネジを締めなおす。(両側調整できます)



点検・仕上げ

●安全点検

- ・取付部材がしっかり固定されているかを確認してください。
- ・水栓の取扱説明書にしたがって、配管内のゴミや油分を十分に洗い流してください。
- ・2段スライドタイプの場合、引出しと配管が干渉していないことを確認してください。
- ・配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

●仕上げ

- ・設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませて固くしぼった布で軽くふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。
- ・落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。その後、水を含ませて固くしぼった布、または水をよく切ったスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意: 溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



お願い事項

●製品の養生

すべての作業が完了しましたら、ボウルおよびキャビネットを保護養生してください。

●取扱説明書の保管・引渡し

洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引き渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

BSU セッチセツメイショ(5) 8H-1



* 1 2 5 6 9 3 6 4 *